

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公表番号】特表2013-534016(P2013-534016A)

【公表日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2013-046

【出願番号】特願2013-518803(P2013-518803)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/50 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/50 6 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月9日(2014.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

位相構造をモデリングするための方法において、

- データ処理システム(100)において、位相構造(300, 402)の定義を受信するステップ(505)であって、前記位相構造(300)は少なくとも一つの構築エレメントの定義を含むステップ(505)と、

- 前記データ処理システム(100)において、構造エレメント(302~330)の定義を受信するステップ(510)と、

- 前記データ処理システム(100)において、第1の構造エレメント(302~330)と前記位相構造(300, 402)の一つのエレメントとの幾何学的な関係を受信するステップ(515)と、

を備えており、

以下のステップA、B又はCを交互に、同時に、反復的に実施し、

- ステップA：

- 前記データ処理システム(100)において、前記位相構造(300, 402)に対する第1の変更を受信し(530)、

- 前記第1の変更に応答して、前記データ処理システム(100)において、第1の構造エレメント(302~330)と前記位相構造(300, 402)との前記幾何学的な関係に従い前記第1の構造エレメント(302~330)を変更し(535)、

- 前記第1の構造エレメント(302~330)の変更に応答して、前記データ処理システム(100)において受信した、第2の構造エレメントと前記第1の構造エレメントとの幾何学的な関係に従い前記第2の構造エレメント(302~330)を変更し(545)、

- ステップB：

- 前記第1の構造エレメント(302~330)に対する変更を受信し(545)、

- 前記変更に応答して、前記幾何学的な関係に従い前記位相構造を変更し(550)、

- ステップC：

- 前記位相構造の第2の構造エレメント及び前記第1の構造エレメント(302~330)の一方に対する変更を受信し(555)、

- 前記変更に応答して、前記変更に従い前記第1の構造エレメント(302~330)

を変更し(560)、
更に、

- 前記位相構造及び前記構造エレメントを記憶するステップ(520)と、
 - 前記位相構造及び前記構造エレメントを表示するステップ(525)と、
- を備えていることを特徴とする、位相構造をモデリングするための方法。

【請求項2】

前記第1の構造エレメント(302～330)は構造面(302～316)であり、
前記幾何学的な関係は前記構造面と前記位相構造(300, 402)の一つの面との一致関係である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の構造エレメント(302～330)は構造縁(318, 320, 328, 330)であり、
前記第1の構造エレメントの定義は一つの構造面と前記位相構造(300, 402)の一つの面の交差部である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記位相構造(300, 402)の定義は、前記位相構造(300, 402)の第2の構築エレメント及び前記第1の構造エレメント(302～330)を参照する、前記位相構造(300, 402)の第1の構築エレメントの定義を含む、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

位相構造をモデリングするためのコンピュータプログラムであって、
前記コンピュータプログラムは、プロセッサに下記各ステップを実行させる、
- 位相構造(300, 402)の定義を受信するステップ(505)であって、前記位相構造(300)は少なくとも一つの構築エレメントの定義を含むステップ(505)と、
- 構造エレメント(302～330)の定義を受信するステップ(510)と、
- 第1の構造エレメント(302～330)と前記位相構造(300, 402)の一つのエレメントとの幾何学的な関係を受信するステップ(515)と、
を実行させ、

前記コンピュータプログラムは、プロセッサに更に、

以下のステップA、B又はCを交互に、同時に、反復的に実施させ、

- ステップA：

- 前記位相構造(300, 402)に対する第1の変更を受信し(530)、
- 前記第1の変更に応答して、第1の構造エレメント(302～330)と前記位相構造(300, 402)との前記幾何学的な関係に従い前記第1の構造エレメント(302～330)を変更し(535)、
- 前記第1の構造エレメント(302～330)の変更に応答して、前記データ処理システム(100)において受信した、第2の構造エレメントと前記第1の構造エレメントとの幾何学的な関係に従い前記第2の構造エレメント(302～330)を変更し(545)、

- ステップB：

- 前記第1の構造エレメント(302～330)に対する変更を受信し(545)、
- 前記変更に応答して、前記幾何学的な関係に従い前記位相構造を変更し(550)、

- ステップC：

- 前記位相構造の第2の構造エレメント及び前記第1の構造エレメント(302～330)の一方に対する変更を受信し(555)、
- 前記変更に応答して、前記変更に従い前記第1の構造エレメント(302～330)を変更し(560)、

更に、

- 前記位相構造及び前記構造エレメントを記憶するステップ(520)と、
- 前記位相構造及び前記構造エレメントを表示するステップ(525)と、

を実行させることを特徴とする、コンピュータプログラム。

【請求項 6】

前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) は構造面 (3 0 2 ~ 3 1 6) であり、
前記幾何学的な関係は前記構造面と前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) の一つの面との一
致関係である、請求項 5 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 7】

前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) は構造縁 (3 1 8 , 3 2 0 , 3 2 8 , 3
3 0) であり、
前記第 1 の構造エレメントの定義は一つの構造面と前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) の
一つの面の交差部である、請求項 5 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 8】

前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) の定義は、前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) の第 2 の
構築エレメント及び前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) を参照する、前記位相
構造 (3 0 0 , 4 0 2) の第 1 の構築エレメントの定義を含む、請求項 5 乃至 7 のいずれ
が一項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 9】

少なくとも一つのプロセッサ (1 0 2) を備えているデータ処理システム (1 0 0) に
おいて、

前記プロセッサが、下記各ステップ、

- 位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) の定義を受信するステップ (5 0 5) であって、前記位相
構造 (3 0 0) は少なくとも一つの構築エレメントの定義を含むステップ (5 0 5) と、
 - 構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) の定義を受信するステップ (5 1 0) と、
 - 第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) と前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) の一つの
エレメントとの幾何学的な関係を受信するステップ (5 1 5) と、
- を実行し、

前記プロセッサは、更に、

以下のステップ A、B 又は C を交互に、同時に、反復的に実施し、

- ステップ A :

- 前記データ処理システム (1 0 0) において、前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) に対
する第 1 の変更を受信し (5 3 0) 、

- 前記第 1 の変更に応答して、前記データ処理システム (1 0 0) において、第 1 の構
造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) と前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) との前記幾何学的な
関係に従い前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) を変更し (5 3 5) 、

- 前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) の変更に応答して、前記データ処理シ
ステム (1 0 0) において受信した、第 2 の構造エレメントと前記第 1 の構造エレメント
との幾何学的な関係に従い前記第 2 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) を変更し (5 4
5) 、

- ステップ B :

- 前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) に対する変更を受信し (5 4 5) 、

- 前記変更に応答して、前記幾何学的な関係に従い前記位相構造を変更し (5 5 0) 、

- ステップ C :

- 前記位相構造の第 2 の構造エレメント及び前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3
0) の一方に対する変更を受信し (5 5 5) 、

- 前記変更に応答して、前記変更に従い前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0)
を変更し (5 6 0) 、

更に、

- 前記位相構造及び前記構造エレメントを記憶するステップ (5 2 0) と、

- 前記位相構造及び前記構造エレメントを表示するステップ (5 2 5) と、

を実行する

ことを特徴とする、データ処理システム。

【請求項 10】

前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) は構造面 (3 0 2 ~ 3 1 6) であり、
前記幾何学的な関係は前記構造面と前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) の一つの面との一
致関係である、請求項 9 に記載のデータ処理システム。

【請求項 11】

前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) は構造縁 (3 1 8 , 3 2 0 , 3 2 8 , 3
3 0) であり、
前記第 1 の構造エレメントの定義は一つの構造面と前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) の
一つの面の交差部である、請求項 9 に記載のデータ処理システム。

【請求項 12】

前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) の定義は、前記位相構造 (3 0 0 , 4 0 2) の第 2 の
構築エレメント及び前記第 1 の構造エレメント (3 0 2 ~ 3 3 0) を参照する、前記位相
構造 (3 0 0 , 4 0 2) の第 1 の構築エレメントの定義を含む、請求項 9 乃至 11 のいず
れか一項に記載のデータ処理システム。